



賀田3-①(安政東海 東南海津波水位跡(全景)一西側より、20060309)



賀田3-②(安政東海・東南海津波水位跡(全景)一南側より、20060309)



賀田3-③(安政東海・東南海津波水位跡(海拔表示板～東南海津波、20060309))



賀田3-④(安政東海・東南海津波水位跡(東南海津波～安政東海津波)、20060309)



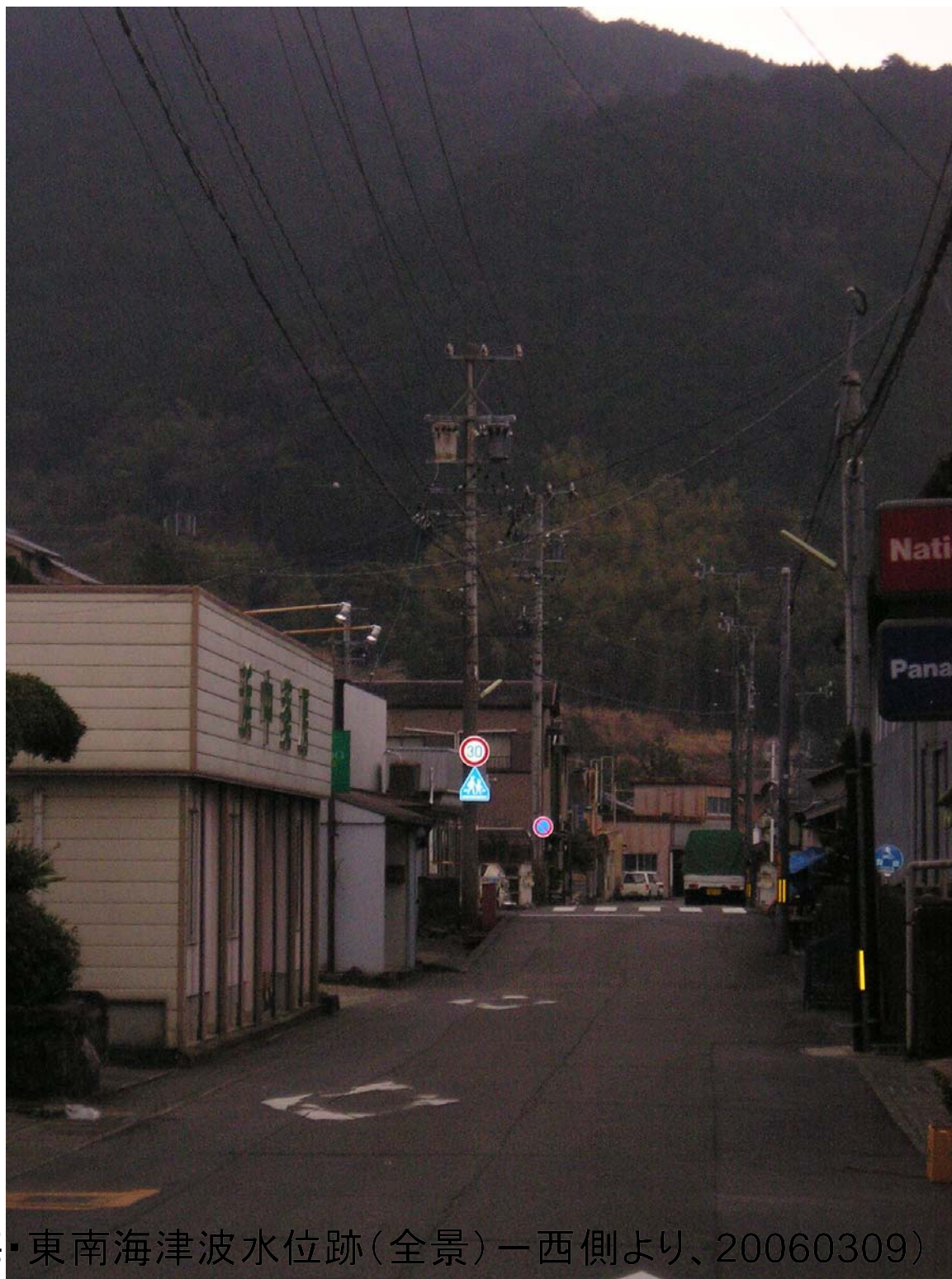
賀田3-⑤(安政東海・東南海津波水位跡(東南海津波)、20060309)



賀田3-⑥(安政東海・東南海津波水位跡(安政東海津波)、20060309)



賀田3-⑦(安政東海・東南海津波水位跡(全景)一南側より、20060309)



賀田3-⑧(安政東海・東南海津波水位跡(全景)一西側より、20060309)




賀田4-①(安政東海畫波潮位点—賀田町537北側より、20060309)

安政津浪潮位奥

同元年1854十一月

賀田津浪対策同誌会

A rectangular stone marker is the central focus, partially obscured by dense green bushes in the foreground. The marker has three lines of Japanese text. Behind the marker, there are bare, thin tree branches and a utility pole. To the left, a portion of a building with a tiled roof is visible. The sky is overcast and grey.

安政津浪潮位点
同元年1854十一月
賀田津浪対策委員会



賀田4 ④(安政東海津波潮位点一東禅寺南側より、20060309)



日取高
水線

大津波

昭和十八年十二月七日

午後一時三十五分頃

四五秒八

南海大地震

尾鷲町死者二五人

行方不明六七人

全壊流失六〇四

半壊一三九

浸水一四四

東南海大津波記録塔

この記録塔は昭和十九年

東南海大地震に依り大津波

の水位を永井鉄所工場壁

に故山下二郎が記した

ものをここに移築しました

山下たづ

昭和六三年七月三日建立

天満1-①（昭和東南海津波水位跡）



天満1-②（昭和東南海津波水位跡）